



給食だより

鳥栖市教育委員会
令和4年 1月発行



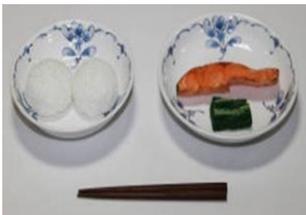
あけましておめでとうございます。寒さが厳しい季節ですが、よく食べ、よく体を動かして、夜はしっかり休み、元気に過ごしましょう。本年も皆さんの健やかな成長を願っています。

給食の歴史～全国学校給食週間～

この週間は、「学校給食の意義、役割等について児童生徒や教職員、保護者、地域住民等の理解と関心を高め、学校給食のより一層の充実発展を図ること」を目的としています。学校給食は明治時代に始まり、戦争による食糧不足で中断されました。終戦後の昭和21年12月24日に東京、神奈川、千葉の3都県の学校で試験的に再開されました。このことから12月24日を「学校給食感謝の日」と定められていました。しかし、冬休みと重なるため、1月24日を「学校給食記念日」とし、1月24日から30日までの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

～給食の歴史～

明治22年[給食のはじまり]



学校給食は、山形県の忠愛小学校で
お弁当を持ってこることが出来ない子
ども達のために「おにぎり・焼き魚・
漬物」の昼食を出したことが始まりで
す。その後、戦争による食糧不足で中
断されました。

昭和21年[給食の再開]

終戦後、子どもたちの栄養不足が心配され、
海外からの援助物資により、学校給食が再開
されました。脱脂粉乳とトマトシチューのみ
など、簡単なものでした。



昭和25年[完全給食の実施]



海外から小麦の援助を受けながら、
パン・ミルク（脱脂粉乳）・おかず
の完全給食となりました。くじら肉
は安価で貴重な栄養源として、よく
登場しました。

昭和40年代[脱脂粉乳から牛乳へ]

脱脂粉乳から牛乳へと切り替わり、パンや
おかずの種類が増えました。揚げパンや麺類
も提供されました。



昭和51年[ごはん給食の実施]



ごはん給食が始まりました。主食が
パンしかなかった頃より、メニューの
種類がとて増えました。

今の給食

現代の学校給食は、郷土料理や行事食を取り
入れるなど、バラエティ豊かです。また、
バランスの良い食事のお手本「生きた教材」
としての役割も担っています。

～感謝の気持ちを持って食事しよう～

学校給食をささえてくれる人々は、みなさん
の健やかな成長のために、日々、さまざま
な努力や苦勞を重ねています。学校給食が食
べられることを当たり前とは思わずに、感謝
して残さず食べたり、食事のあいさつをきち
んとしたりするようにしましょう。

いただきます

ごちそうさま

今年もよろしく
お願いします。

